

シンポジウムの種

第3号 6月28日発行
宮城学院女子大学学芸員課程
2022年度シンポジウム実行委員会
連絡先 人間文化学科副手室
TEL 022-277-6166

2022年度シンポジウムタイトル

多様性と ~全ての人に開かれた博物館を目指して~ 博物館

日時：7月23日（土）

13:00~16:00

会場：大学講堂

主催：宮城学院女子大学学芸員課程

パネラー：

渡部直子氏（仙台文学館）

佐藤祐輔氏（仙台市縄文の森広場）

渡邊直登氏（仙台市歴史民俗資料館）

【連載】お招きする博物館の紹介3

仙台市歴史民俗資料館

仙台市歴史民俗資料館は1979年に開館し、2019年に開館40周年を迎えた。主に仙台地域を中心とした明治時代以降の庶民の生活に関する資料を展示、調査研究を行っている。建物はかつて旧日本陸軍の兵舎として利用されたものを移築し使用している。県内に現存する最古の洋風木造建築物として仙台市の有形文化財に指定されている。



写真 仙台市歴史民俗資料館パンフレットより

学校見学の際、明治時代以降の暮らしの様子を子どもたちにも伝わるように工夫していることはありますか？



実行委員

子どもたちにどう伝えるか



仙台市歴史民俗資料館
学芸員 渡邊直登様

昔のくらしや道具を身近に感じることができる解説を心がけています。たとえば、当館は明治7年建築の建物ですが、子どもたちには年代や年号だけでなく「皆さんのひいひいひいおじいさん・おばあさんが生まれた頃の建物です」などと説明しています。また、昔の道具について説明するときには、子どもたちが普段目にする現在の道具でいえば何にあたる道具か、現在の道具とどこが違うかを説明したり、考えてもらったりします。

写真展講評会が終わりました



6月18日(土)に、写真展の講評会が行われました。写真展を開催するにあたり撮影の指導をくださった東陽写場の後藤浩策さん、学芸員課程に携わってくださっている先生方、そしてお忙しい中足を運んでくださった先生方に講評をして頂きました。また、それぞれ賞を頂きました。個人部門84作品の中から、全投票数164票、個人部門では

- 第1位 吉田百佳さん
- 第2位 猫塚維恩梨さん
- 第3位 松本ひかりさん

が表彰されました。また、組写真部門では

- 第1位 内山組『Rainy Day』
- 第2位 會田組『一陽来復』

が表彰されました。投票して頂いたご来場の皆様、ありがとうございました！

【新連載】博物館実習の様子

「博物館実習」(a) クラス

博物館実習(a)明石組では軸装の取扱いや各部の名称について学びました。実際に本物の軸装を扱うということで、実習生は普段以上に緊張した様子でした。写真は実際に軸装のかけ方やしまい方を学んでいる様子です。



シンポジウム

多様性と博物館

～全ての人に開かれた博物館を目指して～

宮城学院女子大学 学芸員課程

2022

7/23(土) 13:00~16:00

場所 宮城学院女子大学 大学講堂

出演 渡部 直子 氏 (仙台文学館)
渡邊 直登 氏 (仙台市歴史民俗資料館)
佐藤 祐輔 氏 (仙台市縄文の森広場)

アクセス JR 仙台駅西口バスプール
2番及び3番乗り場
宮城交通バス「宮城学院前」下車

聴講無料

定員 110人 (事前申し込み制)

Mail 宮城学院女子大学 学芸員課程 [mg-gakueiin@mgu.ac.jp]
参加を希望される方は、ご氏名、連絡先を明記の上、上記のアドレスにお申込みください。

ご来場の際には、マスクの着用、検温など、新型コロナウイルス感染拡大防止策にご協力をお願いします。
詳しくは宮城学院女子大学 学芸員課程HPでご確認ください。

シンポジウムのポスターが完成しました

詳しくは次号でお伝えします！

編集後記

こんにちは、『シンポジウムの種』製作班です。
今号では、1面に【連載】の仙台市歴史民俗資料館のご紹介、2面には写真展講評会の様子と、新連載の博物館実習の様子、シンポジウムのポスター完成版を掲載いたしました。次号では、完成したポスターの詳細や、運営部による大学講堂設営準備の様子、これまでの活動について等を掲載する予定です。お楽しみに！(佐藤、後藤、松本)